

[2018年12月3日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部  
東京都千代田区神田三崎町2-5-3 〒101-8366  
TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

## 2018年度 全国技術発表会を開催しました ～16日に建築、30日に土木がそれぞれ開催～

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：伊藤 泰司）は、2018年11月16日に建築、11月30日に土木の2018年度全国技術発表会を開催しました。年に1度開催している技術発表会で例年同様、東京千代田区の本社ビルで全国の社員がさまざまなテーマの発表をおこないました。



冒頭、挨拶を行う伊藤泰司 社長  
(16日 建築技術発表会)



冒頭、挨拶を行う高橋昭宏 土木本部長  
(30日 土木技術発表会)

### ■全国建築技術発表会

発表会場で社員約100名が聴講参加すると同時に、その様子はテレビ会議システム(固定およびモバイル通信機器への配信)を用いて、全国の8支店ならびに営業所・作業所へ配信しました。また、昨年と同様に配布資料はペーパーレス化を図り、クラウドシステムを活用して、タブレットやスマートフォンによる閲覧としました。冒頭、伊藤泰司(代表取締役社長)は、「当社が誇れるものは『品質と技術』です。今年の発表テーマはバラエティに富んでおり興味深い内容が多く含まれています。新しい技術、品質の継承の機会と捉え、この場に留めることなく全社員に共有を図っていきましょう。」と挨拶を述べました。

発表内容は以下の通りです。

- (1) 「層雲峡ホテル」耐震補強について
- (2) 石川町文教福祉施設整備工事に於ける解体工事について
- (3) 「鉄道博物館」展示車両搬入に伴う工程管理について
- (4) オリンピック施設工事(有明アリーナ BIM の活用、アクアティクスジャッキアップ大屋根施工)
- (5) 「木太町マンション」レトロフィットによる免震装置の取替
- (6) アンダーピニング工法による建物復旧～惣領団地熊本地震災害復旧工事～
- (7) 「銚子駅」木造の駅本屋撤去新築工事について
- (8) 高蔵寺寮の有効活用について～社有資産の維持・向上を目指して～

(以上8テーマ)



■全国土木技術発表会

発表会は建築技術発表会と同様に、社員約 100 名が聴講参加すると同時に、その様子をテレビ会議システムで全国 8 支店などへ配信しました。冒頭、高橋昭宏（取締役常務執行役員 土木本部長）は「本日の発表は、ICT や BIM を試行する現場が急速に増えている中で、日ごろ現場での創意工夫や新技術への取り組みにより達成した成果を発表していただきます。技術は決して研究部門での開発がすべてではなく、皆さんが現場でのさまざまな事象に対して深く追求し、的確に対応できることが技術だと感じていますので、発表をよく聴講し、その着眼点と技術力の向上に努めていただきたい。」と挨拶を述べました。

発表内容は以下の通りです。

- (1) 地名だけが残った三原橋の撤去～既設梁撤去に伴う仮受け計画と施工～
- (2) シートパイル基礎を用いた被災橋脚の原形復旧
- (3) ズリ出し用連続ベルトコンベア設備への中間ブースター設置について
- (4) 営業線における盛土耐震補強工事の施工実績
- (5) 北浦港橋りょうの沓交換～計画から実施工について～
- (6) RCセグメント土留めによる橋脚立坑の構築について
- (7) 住宅地におけるトンネル掘削時の騒音対策
- (8) 市街地におけるボックスカルバート推進工の適用～施工実績と今後の課題～
- (9) 営業線に近接したハイピア構築と足場の架設
- (10) 大規模ターミナル駅におけるハイピア構築と足場の架設
- (11) 中部横断自動車道ランプ橋 PC 上部工の施工計画・耐久性向上策

(以上 11 テーマ)

■当社では、技術発表会の内容をテレビ会議システムやイントラネットで社内の情報共有を推進し、企業技術力の向上をめざしています。

以上